

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (小寺三木三)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 たかや <高屋(3)地区>	豊岡市 高屋		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
豊岡市 高屋				H14年度	H17年度

事業目的	事業内容
<p>防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 220 m H = 3 m</p>

評価視点	評価内容
<p>(1)必要性 安全・安心</p> <p>快適性・ゆとり</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全対象に集合住宅1階部分を含めて人家戸数24戸(住宅全体で89戸)、及び公民館(避難所)市道(高屋団地1号2号)がある。 ・ 斜面は粘性土で軟弱であり、小規模な降雨でも小崩壊が発生するなど斜面は不安定な状態であり、崩壊の危険性は高い。 ・ 山間部の住宅地を縁取る緑の自然は、地域の豊かな景観を構成するものであり、保全効果は高い。 ・ 人家裏の斜面には崩壊跡があるなど、斜面崩壊に対する住民の不安は大きい。 ・ 山村振興地域に指定されており、当事業による生活環境の改善効果は高い。
<p>(2)有効性・効率性 有効性 効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全人家24戸(全体89戸)と多くまた、公民館(避難所)市道等があり事業効果が高い。 ・ 事業実施に向け、地元要望があり、法指定や借地の同意が得られる見込みがある。
<p>(3)環境適合性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擁壁工は化粧型枠の採用を検討し、自然になじんだ雰囲気にする。 ・ 斜面裾部を固定することにより、農村部の良好な緑の斜面を保全できる。
<p>(4)優先性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面裾には過去の崩壊跡がみられ、今後崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高い。 ・ 地元合意形成が図られ、事業執行環境は整っている。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------